

防災チェックポイント

★停電に対する備え



防災対策特別委員会

昨年は5つの台風が日本列島に上陸し、広い範囲での河川の氾濫・決壊が相次ぎ、大規模浸水等の大災害があったことは記憶に新しいところです。

「線状降水帯」は全国各地でも発生し、集中豪雨に襲われます。

今や災害列島の異名をとるほど大災害が相次ぐ中、どう備えればいいのか、命を守るために必要な「いろは」の「い」、まずは「地域の危険を知ること」です。知ることを通して危機意識を持つ。そこで何が必要か「備える」行動に移せるのです。

災害と常に隣り合わせという認識は、どれくらいの方が持っているでしょうか。ある方の講

演では、ペットボトル入りの水を備蓄して満足している人が多くと嘆いていましたが、みなさんは如何でしょうか。

昨年、本町では幸運にも大きな災害はありませんでしたが、あの台風15号、19号のような甚大な被害は、いつどこで発生してもおかしくありません。

台風15号では長期停電状態の対策に大きな課題を残しました。情報は寸断され電化製品も使えない、そのような避難生活を余儀なく強いられました。

この度は停電に対する「備え」について共に考えてみましょう。有事の際に落ち着いて行動ができるよう準備が出来るのは今です！

災害時の停電で困る11

1. 照明がなく暗い夜

暗闇というのはとても不安なものです。明かりがまったくない状況では、手探りで一歩進むのも困難。何もできない状況になってしまいます。



2. 携帯電話の充電が切れる

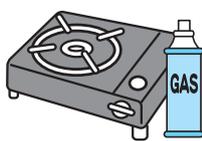
停電になると家の固定電話が使用できなくなります。携帯電話は停電時でも使用できるものの、充電が切れたら電気の回復を待つしかない状況になってしまいます。

3. 電化製品仕様不可能

昨今はオール電化家庭が多く、当然のことですが全ての家電が使えなくなってしまう。

4. 情報が入らない

停電時はテレビからの情報を得ることができません。いきなり情報を得る手段がなくなってしまう。



5. 水道が止まる

一昨年の断水を機に、井戸水利用に切り替えた家庭が多数あります。

停電時は井戸ポンプが作動せず断水となってしまいます。

停電に備え揃えておきたいもの

- 1 LEDランタン
- 2 モバイルバッテリー
- 3 カセットコンロ・カセットボンベ
- 4 懐中電灯
- 5 ラジオ
- 6 電池
- 7 自動車用ガソリン
- 8 石油ストーブ・灯油
- 9 ろっそく・ライター
- 10 ポータブル発電機